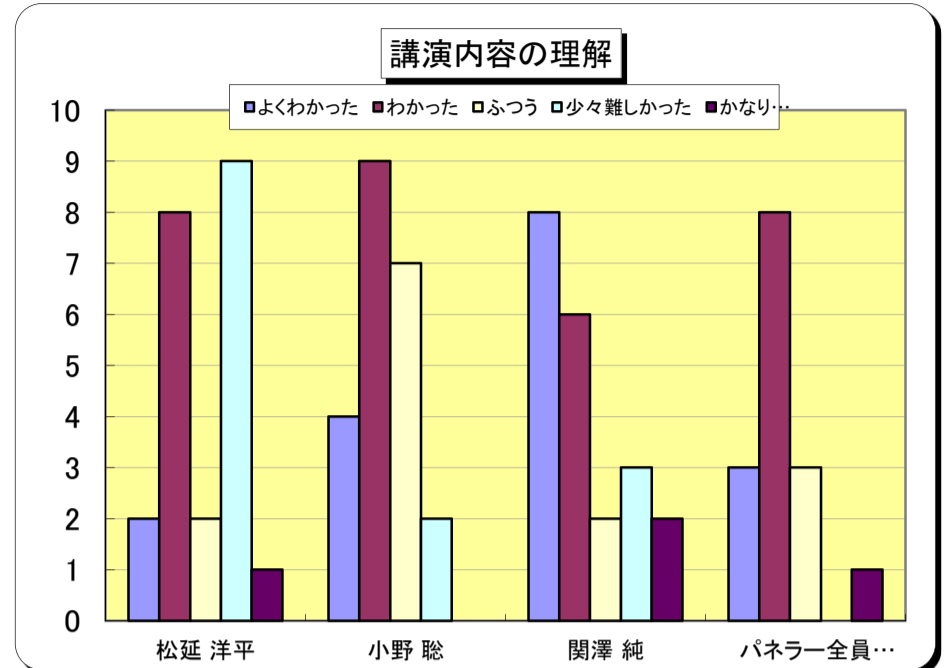
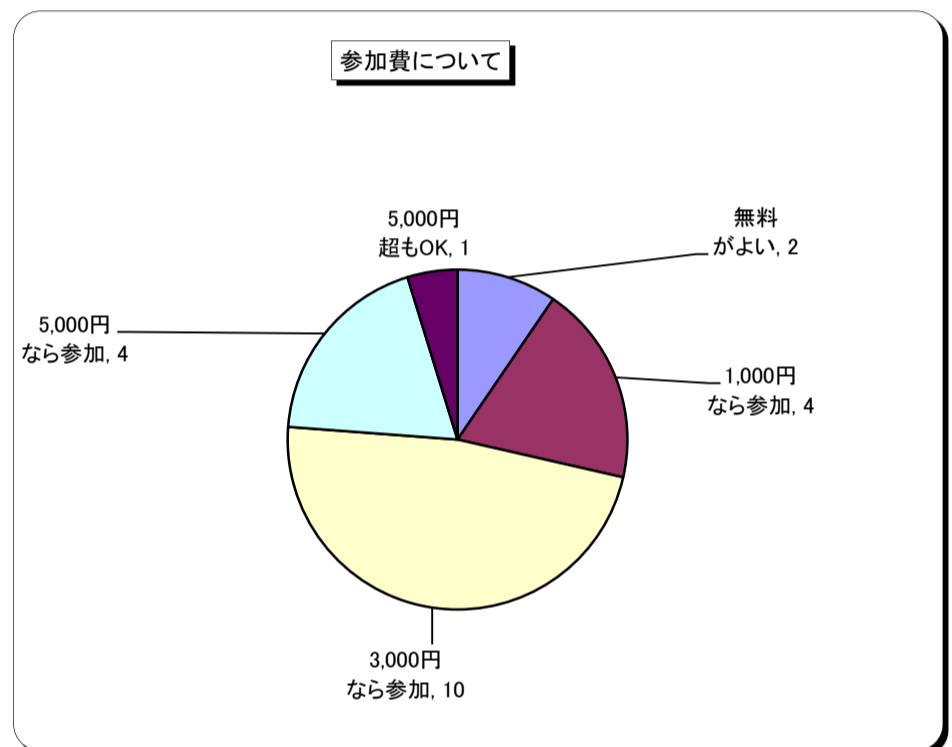


アンケート回収数21枚(参加者:47名、演者4名を除いた回収率:49%)

No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	これからの食の安全・安心と危機管理 ~グローバル化の激化とリスクコミュニケーション~	松延 洋平	2	8	2	9	1
2	放射線の経験から考える食のリスコミ	小野 聡	4	9	7	2	0
3	危機管理と知る権利について—食品リスクと放射線リスクの違いと共通点	関澤 純	8	6	2	3	2
4	パネル・ディスカッション: 『消費者の食の安心につながるリスコミを議論する』	パネラー全員 進行:山崎	3	8	3	0	1

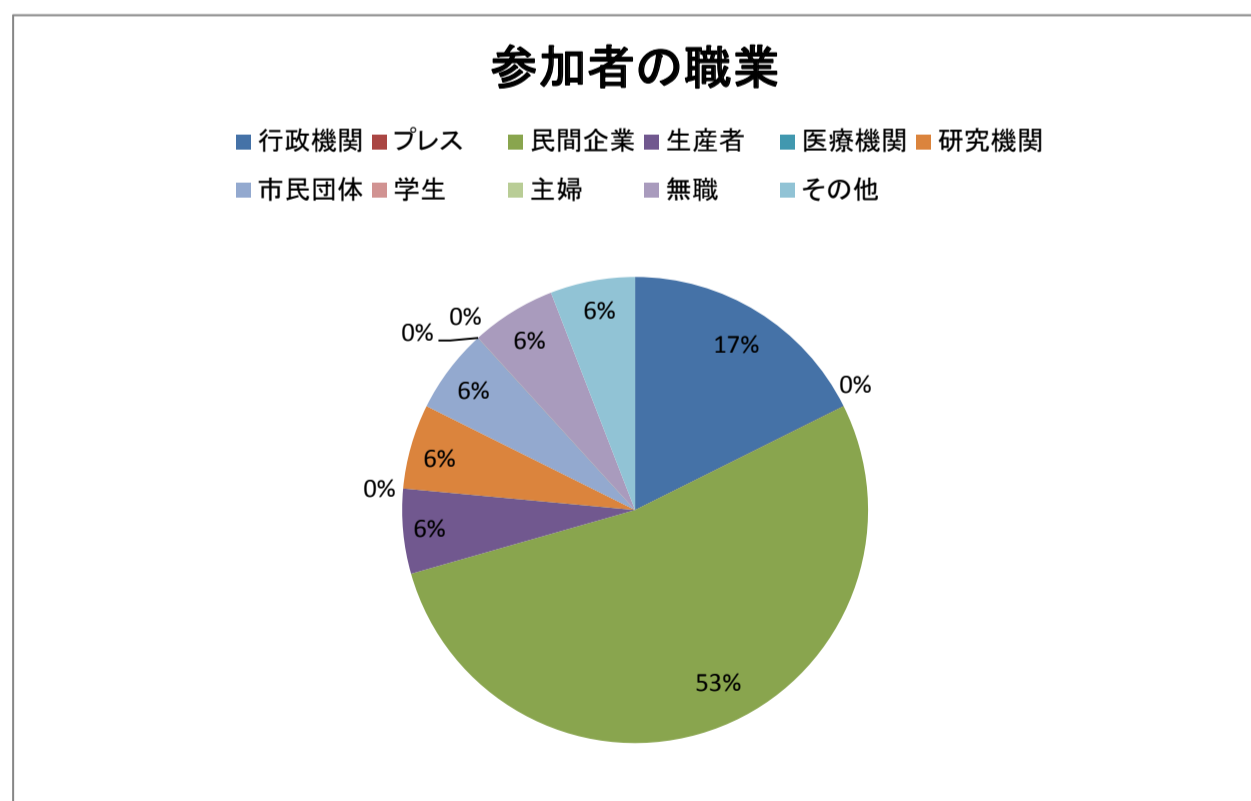


	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどうお考えですか?	2	4	10	4	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でも教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
消費者の食の安心につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか。	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOから隔月でメルマガを発行しておりますが、無料購読を希望される方はメルアドをご記入ください。	(別紙)				



職業

行政機関	3
プレス	0
民間企業	9
生産者	1
医療機関	0
研究機関	1
市民団体	1
学生	0
主婦	0
無職	1
その他	1



各演者のご講演やフォーラム全体に対する参加者のコメント集

1	これからの食の安全・安心と危機管理 ～グローバル化の激化とリスクコミュニケーション～	松延 洋平
3	テーマが大きすぎて、ピンときませんでした。	
4	時間的制約か、論点がまとまりにくい印象	
7	グローバルスタンダードの前に国際人の養成が必要とのことです。(逆に島国根性を正しく認識することも) 行政の知識がなくて、理解できない所が多い。	
8	ふだんローカルな視点で物事を考えがちだったが、オリンピックに向けてグローバルな視点でも課題を考えていきたいと思った。	
9	個々のテーマの解説がもっとほしかった。	
12	一般の人にとっては意外な内容で、新たな発見・気づきにつながりました。	
13	少し話の範囲が広すぎるような気がした。	
14	話の内容が飛び飛びでよくわからなかった。又、内容がかなり主観的だと思った。	
15	お話されたいと思うことが沢山おありだったので。広く浅い話の内容で、それはそれで知らないこともあり、よかったですと思います。	
16	講師紹介をプリントアウトした方が良い。(経歴、執筆書籍、論文)	
19	重要な内容・発言が沢山ありました。個別のテーマで詳しく聞いてみたいです。	
20	対策やお話が長すぎて、ポイントやキーワードがよくわからなかった。資料の作り方を工夫していただくと良かった。日本がワールドスタンダードからはずれていることはよく理解できた。人材育成が最近の課題だと感じた。	
21	不勉強のため自身の全く知らない世界の情勢の話題にはじめは難しく感じましたが、知見に基づいた日本の食安全意識や情報発信の弱さの指摘に、今の課題をはっきりと感じとる事ができました。他分野がつながることが必要だと思います。	

2	放射線の経験から考える食のリスク	小野 聡
3	放射線リスクの車座会議について、もう少し詳しくお聞きしたかったです。	
5	体系だっついていてわかりやすかった。	
7	食のリスクについて、異なった視点のお話がうかがえた。	
8	実際のとりくみと理論の結びつき方が良くわかった。	
9	具体的な事例を紹介してほしかった。	
12	リスクコミュニケーションの研究者から貴重な話が伺えました。	
13	参加型リスクミのことが良くわかりました。しかし、もう少し実情の問題点について話が聞きたかったです。	
15	久しぶりに退屈な(?)講演でした。疲れているせいか後半眠かった。Butパネルディスカッションでは中々の人物ですネ。	
16	現場でのリスクコミュニケーションの具体的な苦労や主観性の話題をもう少し聞きたかった。	
18	配布物とスライドが違っているの、今の話がどこか?がよくわかりませんでした。スライドいっぱい文字なので、読みづらかった。	
19	アプローチ手法から考える良い事例でした。	
20	消費者を具体的にイメージしながら、話がうかがえた。	
21	大変わかりやすく、根拠となるグラフの見方や解釈も入れて説明していただき、専門的な内容にもかかわらず講演内容におきざりにされることなく拝聴できました。他分野での実践された考え方を、とり入れるというやり方は大切ですが、非常にレベルが高く難しさも感じました。	

3	危機管理と知る権利について—食品リスクと放射線リスクの違いと共通点	関澤 純
3	適切な表現、伝達がとても重要であることが良くわかりました。何が適切かというおは難しいなとは思いました。	
7	幅広く含蓄、示唆に富んだお話でした。やや事例が少なく、モヤモヤ感も残る。(次回論点を絞ったお話を) 早めにスライドをwebへUP願います(大変参考になるスライドが未配布でした)	
8	表現の仕方を考えるときのヒントを得たように思う。	
9	具体的な事例について、分かりやすく解説された。	
12	定説とは違う部分のあるご意見・ご発表であり、一般の参加者には難しく感じました。	
13	話のスピードが早く、聞きとりにくかった。	
15	全くの素人の私には、とても判りやすい説明でGOODでした。次回を楽しみにしております。	
16	難しい内容を判りやすく説明してもらった。配布資料にない資料があり、残念だった。	
19	食品統計の読み方がわかりました。	
20	勉強になりました。	
21	評価すること、その解釈や判断材料として伝えることは違うというお話がありました。評価する専門家がその伝え方の工夫の段階で発信者と議論する場が必要だと思います。(メディアには評価結果を判断材料としての伝え方をする責務があると思いますが、その能力は不十分では・・・)	

4	パネル・ディスカッション: 『消費者の食の安心につながるリスクミを議論する』	パネラー全員 進行:山崎
3	とてもためになりました。	
5	もうちょっとまとめて話してもらわないと理解できない。	
7	(いつもですが)フランクなPDです。進行の山崎先生のおかげです。	
8	教育の重要性を感じた。厚労省・農水省の雰囲気	
12	少しわかりにくい回答もありましたが、理解向上につながる回答もありました。	
15	50年前の被爆量からすると1/3程度で、2011年のあの時の政府の発表のあまりのいい加減な基準にびっくり。信用できないとは・・・です。	
16	難しい内容を判りやすく説明してもらった。配布資料にない資料があり、残念だった。	
19	国内外の食品安全最新動向を知ることができました。	
20	松延先生の話が広すぎてやや理解できずでしたが、さまざまな視点からの議論は大変参考になりました。	

5	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。
3	自分が知らないことが、まだまだたくさんあったので、もっと学ばなければならないと思いました。
5	リスク関係者が対象としても、一般市民が対象としても、元官僚ではなく現役の方を呼ぶべきだと思います。
6	福島原発事故の大変さ、悲惨さが伝わってこない現状に暗たんたる思いです。反面、SNSなどで異物混入などメーカーに直接でなく、面白おかしく拡散される現代社会の情報伝達のアンバランス感に不安をおぼえました。
7	行政、施策に関わる方からのリスクのお話は参考になります。(科学者以外の視点が重要)
8	パネラーの方々の幅が広くて、様々な立場の方のお話を聞くことができ嬉しい。
9	新たな知見は少なかったが、勉強になりました。
12	知らない情報を聞くことのできる場として、価値があると思います。空調がとても寒い時がありました。
13	消費者の福島・放射線についての関心が薄れてきただけで、役所の対応は今でも遅れていること。
16	講師の方々が多様で面白かった。
17	お三方、どなたも興味深く拝聴しました。
18	安全といわれる指数を考えて、安全性評価しなくてはならないと思いました。
19	濃い内容でした。
21	自身の職場では、予防を目的としたカウンセリングを行っておりますが、そこでもリスクの考え方が大いに生きると思いました。現時点で自覚症状や不利益が感じられなくても、リスクを認識してもらい行動変容を考えてもらう必要があるからです。しかし同時に、それが正しくないみちびきかもしれないという小野先生の示唆は仰るとおりと思います。アセスメントの基準をもつだけでなく、コミュニケーションと合意にもとづく進め方をしたいですが課題は山積みです。とても考えさせられるお話でした。

6	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
3	情報のわかりやすさ、何が適切か
5	ニュースになる話題は知っているが、その他のモノはわからない。課題の共有をせねば。
7	消費者団体の方を講師に。
9	HACCP義務化
12	その時々タイムリーな話題をとりあげてもらえるのがよいと思います。(先日、環境ホルモン規制について報道がありました。)
13	リスクコミュニケーションとリスクマネジメントに特化して、具体的に実施した内容の紹介
16	高齢者向け機能食品の相談を良く受けるので、効果や過剰摂取の問題点などの分野を願います。
17	消費者団体、海外の情報など(日本のリスクの遅れ?)
19	生産・製造に関しての課題について、対策のグローバル化(基準動向)について

7	消費者の食の安心につながるリスクのために、いま何が必要でしょうか。
3	どう伝えたら正確(適切)で、わかりやすいのか。
6	食の関心を示す方は「残留農薬や食品添加物は全く使用しない」を理想としているように感じます。多種の食品が遠方を含め流通し、保存が長期できる利便性には欠かせないものであるという理解が必要に思いました。
9	ミスリードするマスコミに対する指導(反論アピール)
11	ちょっと聞きかじった「影響力のある人」が誤った発言により、消費者の不安をかきたてることを防げる活動が自治体や科学者達にとって必要だと思います。
12	地道な情報伝達・コミュニケーションしかないのかもしれませんが。一方でマスコミによる偽情報の報道は迷惑です。正しいと確認できない偽情報は流さない。流した場合は訂正するようなルール・常識が求められると思います。
13	もっと簡単な用語を用いた自治会クラスでの実施
16	年に1回は市民向け公開講演会を開催したらどうか。
17	あきらめない分かりやすい情報発信
18	消費者自ら学ぶ機会を増やすしくみ。生活の中のちょっとした時間で学べないか？知らないうちに学んでいる仕組み作れないか？と思います。
19	新しい専門の省庁設立？SFSSの全国化？
20	家庭科教師など同じ関心を持つグループへの教育がありましたが、ネットも究極の同じ関心を持つ人のリスクの場だと思います。フォーラム資料を公開いただいていることは、とてもありがたいですし、続けていただきたいと思います。
21	松延先生が仰ったような情報を主体的にあつめ判断する文化の形成と判断基準となる根拠に基づいた情報をわかりやすく伝えるもの(HP?団体)